

# 表彰 (敬称略)

## 保健福祉部門

### 【8020運動】

平山 浩藏 (小米、29本)  
南 哲次郎 (正名、28本)  
前 中富 (住吉、28本)  
神崎 敏雄 (新城、27本)  
平方 芳亮 (小米、27本)  
奥間 富士夫 (田皆、24本)

### 【保健福祉功労】

花ともだちウジジ会 (芦清良、社会福祉活動)  
益山 哲子 (竿津、老人福祉業務)  
山口 節子 (知名、老人福祉業務)  
久本 晋 (久志検、老人福祉活動)  
沖久 哲也 (久志検、社会福祉活動)

## 社会教育部門

### 【社会教育功労者】

今榮 和江 (余多、老人会・青少年育成活動)



### 【知恵袋博士】

沖ッタ代 (下平川、革手芸博士)

### 短歌コンクール※大賞のみ

### 【小学生の部】

夏休み 楽しい分と  
同じだけ

つくえの上は プリントの山

内田 歩実 (下平川小5年)

### 【中学生の部】

炎天下 空に向かって

一直線

高く高くと 伸びゆく向日葵

伊井 謙二朗 (知名中3年)

### 【高校生の部】

日に焼ける 走る島人

ていだの下

陰に入れば 風の応援

有林 龍生 (冲高1年)

### 【一般の部】

戦終え 緑満つ故郷(みどりみつさと)

七十年

平和の歌声 続け百歳(もものとせ)

平山 里島 (小米)



## 福祉作文 (最優秀賞)



「夢を実現させるために」

田皆中1年  
永井 海南



「ボランティアって、なあに？」

下平川小5年  
前田 一真

私は、八月十日と十一日の八時三十分から十七時まで、認定こども園きらきらに、福祉体験に行き、二つの目標を立てました。

一つ目は、たくさん園児とふれ合って、子どもへの接し方を学ぶということです。たくさん園児とふれ合うということは達成できましたが、一人一人のことを理解して、その子どもに合わせた接し方をすることができませんでした。

二つ目は、周りを見て自分から行動できるようにするという事です。この目標は、一人一人の苦手なことや得意なことを見つけて接することができました。でも話すことがあまり上手じゃない子や、まだじゅべれない子の相手をするとき、言葉で言ってもダメなこともあって大変でした。

この福祉体験学習で、大切だなと思ったことは、常に周りを見て、気配りをすることです。ご飯を上手に食べれない子に、ただご飯を食べさせるのではなく、それができるように子どもにチャレンジさせるのもとても大切なことだと分かりました。

私は将来、福祉関係の仕事がしたいなと思っています。この二日間の福祉体験学習を生かして、自分の進路をしっかりと、じっくりと考えていきたいです。また、このような福祉体験学習があるときは、自分から進んで参加していきたいです。

「ボランティアって、学校内のゴミ拾いや玄関そうじだと思ってた。」

数年前。ぼくは、病院に一ヶ月近く入院していた。そんなある日、病とうに大きなベージュの犬がニヒキやって来た。

犬などを連れて病院などをめぐる。そんな活動も、ボランティア活動と知って、ぼくはおどろいた。

ボランティアの意味について、辞書を出し、すぐに言葉の意味を調べた。

「無料ほう仕で活動する人」

「社会や他人のためにけん心で働くこと」

「ぼくもボランティアをした経験が、学校以外でもあったんだ。」思わずぼくはつぶやいた。

祖父は毎月、登校時間になると子どもたちの交通安全のために交差点に立っている。母は、学校に来て読み聞かせをする。それも、すべてボランティア活動なのだ。

ボランティア活動をする上で気を付けなければいけないことがある。それは、「相手の思いを一番に考えること」である。

今回、ボランティアについて調べたり思い返したりしたことで、「ボランティアって、なあに」という疑問に答えを見つけることができた。ぼくの意識も変わった。

「すべての人が気持ちよく過ごせるために。」

※両作文とも原文のまま一部抜粋しています。